

2021年度 森林総合研究所 公開講演会

伝えたい！森の中の放射性セシウム

～10年で明らかになったこと～

野生きのこの放射性セシウム 濃度研究について

きのこ・森林微生物研究領域 小松 雅史

野生きのこの放射能汚染

一般食品の基準値と出荷制限

- 基準値は100Bq/kg (^{134}Cs と ^{137}Cs の合計値)
- 超えると出荷制限になる

出荷制限の自治体数

- 野生きのこ：11県121市町村

内部被ばくと野外活動意欲の低下

- 自家消費による内部被ばくの懸念
- きのこ山菜採りの活動世帯割合の低下

(松浦2021)

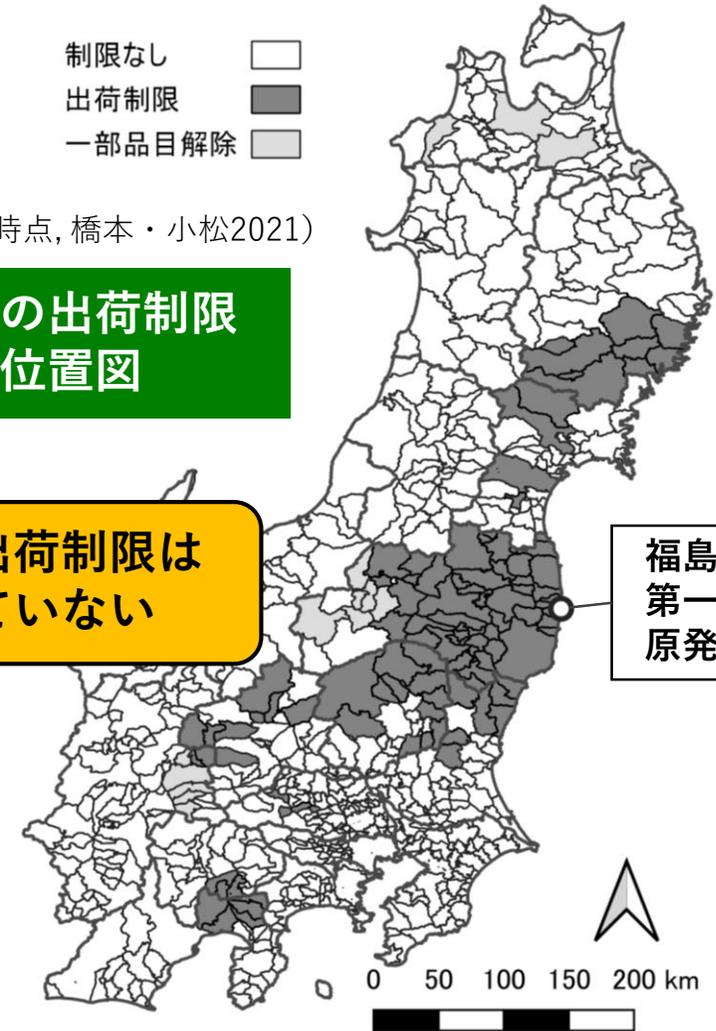
制限なし □
 出荷制限 ■
 一部品目解除 ◻

(2020年11月時点, 橋本・小松2021)

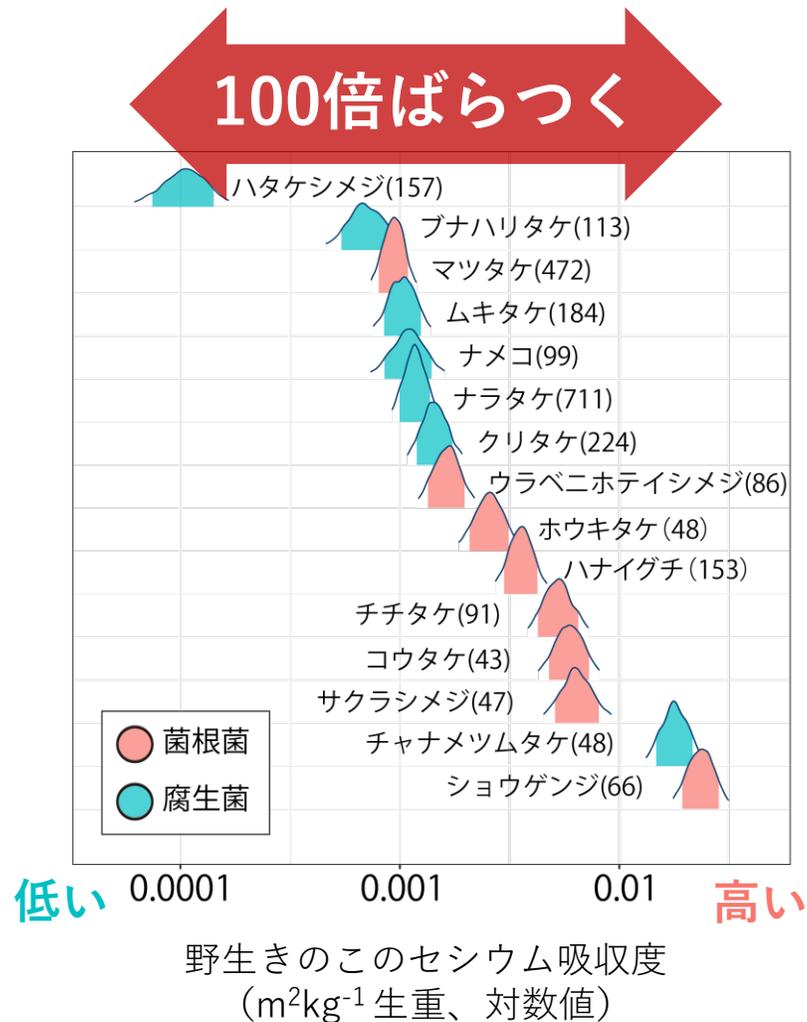
野生きのこの出荷制限
市町村位置図

野生きのこの出荷制限は
種を区別していない

福島
第一
原発



野生きのこの種ごとの放射性セシウム濃度特性



- 市町村の食品モニタリング結果から野生きのこ約3,000点のデータを解析
- セシウム吸収度が高い種ほど同じ市町村で採ったきのこの濃度が高くなる
- 種により濃度は最大 100倍以上異なる
- 樹木と共生する菌根菌は落ち葉や枯れ木から出る腐生菌よりも高い傾向

※値は確率分布で示され、山の高いところの数値である確率が高い (橋本・小松2021)

10年でわかったこと

- 種によって野生きのこの放射性セシウム濃度は大きく異なる
- 同じ種・市町村でも放射性セシウム濃度は大きくばらつく
- 土壌環境が影響している可能性がある
- 直ちに放射性セシウム濃度は大きくは変わらない可能性がある
- 調理によって食品内の放射性セシウムを減らす研究が行われている
- 地域・状況に応じた対策を考えていく必要がある